

こんな本に出会いました・・・。

まだ読みかけですが・・・。「あー全部私してはいけない教育している・・・。」と反省の連続です。すぐに叱ってはいけない→あ、している。最悪な声のかけ方→この言葉言ったことある。(ついつい「なんで、できない」「もう、最悪」など)自分自身を深く振り返ることになりました。逆に、子どもが間違えたときにする声のかけ方・メンタル力を向上させる方法などヒントになるものがたくさんありました。

私自身、教科の指導法の参考書をみるが多かったです。その良さもありますが、子供の脳の仕組みや言葉に秘められた効果(脳科学・心理学)をもっと勉強すべきだなと感じました。

ちなみに、「学力を上げたいなら〇〇を取り入れる」らしいです。本に興味のある方は声かけてくださいね～。



高澤先生！お疲れ様でした！



高澤先生の授業でたくさんの学びがありましたね。私は何より、私たち教師の「笑顔(スマイル)」が学級経営の基盤にもなるなど実感しました。教師のコーディネートの一つかもしれませんね！



今年一年、研究へのご協力ありがとうございました。私のテーマとして「持続可能な研究」をモットーに取り組んでいるつもりです。しかし、正直なところ授業や子どもを変えようと思うと多少の負荷がかかってしまうのが現実にあるな～と感じています。日々の業務をこなすだけで大変なのにこれに研究って・・・。私自身感じるがあります。しかし、やり方・考え次第では少し希望が見えるのではないかと考えています。

例えば、授業を変えようとするなら、一番早い方法で「人に見てもらおう!!」人に見てもらうことで自分への自信につながります。人によっては、「5分」でも見るとそのクラスの雰囲気・その人の癖・良さ・改善点が見えるとも言われています。自分一人での変容は不可能です。継続してお互いに連携し、自分を磨いていくことで子どもたちへ響くことがあるはずですよ。

他にも、「隣のクラス・違う学年で授業をする」「教材を学年部で研究する」「授業での軽重を意識する」「少し本を読んでみる」など日々の授業に**プラス1**で子どもの変化があるかもしれませんね。

あ！先生たちの「わたしの宣言」があるじゃないですか！それです!!!!

最後に、目の前の子どもたちとは約3か月で次の担任へと引き継ぐことになります。今の子どもたちの姿はどう先生方に写っているでしょうか。私のクラスは、算数のかけ算の定着が進まない、文章と絵のリンクができず、文章問題の正答率が低い、返事ができない(反応)などなど課題があります。私は、身に付けさせる力を3学期は子どもたちともしっかり意識していきたいと考えています。

では、よいお年をお迎えください。「Thank you for your hard working!」